



GLITTER CB ACID

pH
4.5

アルカリ施術後の pH を穏やかに戻すヘアトリートメントです。

使用方法

タオルドライ後、適量を毛髪全体に馴染ませ、その後よく水洗します。

- ・ブリーチ施術の流し前に
- ・ヘアカラーの乳化
- ・ストレート施術などケミカル施術の後処理として
- ・GB ストレート joker の pH 調整として添加

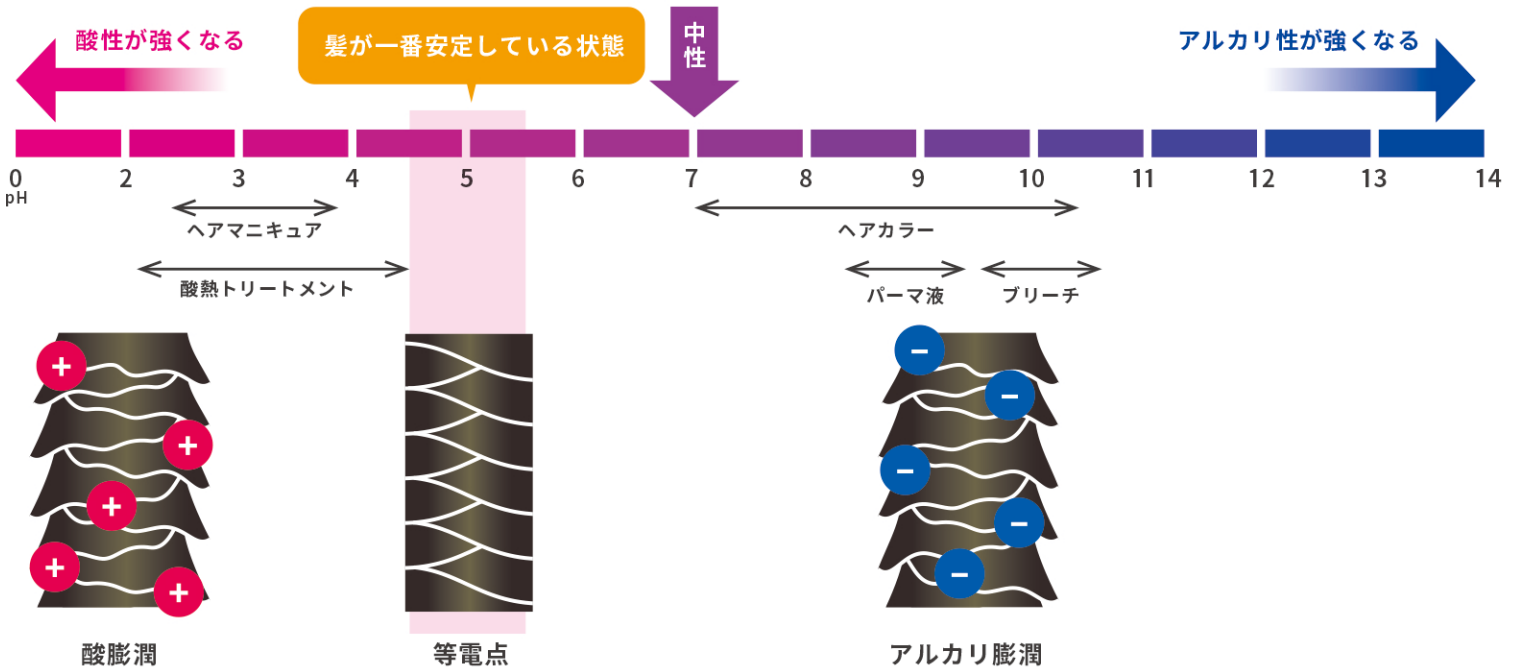
- キレートシャンプー ———— ソープ：アシッド=1：1
- アルカリ中間処理 ———— アルカリ剤水洗 → アシッド：水=1：1 → シャントリ
- ブリーチ膨潤コントロール ———— オキシに対して 5%~10% 計量
- アルカリストップ ———— アルカリ剤をストップさせたい時に重ねづけ

特長

- ・アルカリをしっかり中和し酸膨潤させない等電点バッファトリートメント。
- ・ブリーチ剤などの高アルカリ・高 pH にも対応。
酸膨潤させないため、ブリーチ施術はもちろん、カラー施術、パーマ施術などに使用可能。
- ・カラー施術後に使用しても色味に影響しにくいレブリン酸配合。

毛髪膨潤と等電点の関係

毛髪は、水に濡らすだけで膨潤をします。これは髪の等電点 (pH4.5 ~ 5.5) から外れるためです。
髪は等電点から離れるごとに膨潤し耐えきれなくなると崩壊が始まります。
一般的にはアルカリで毛髪損傷することは知られていますが、酸でも同じ現象に陥ることが考えられています。



髪の pH と等電点



等電点とは、電荷が等しいこと。

髪はアルカリ方向に進むにつれてマイナス、酸方向に進むにつれてプラスが増加し、等電点から外れることで電荷同士が反発し髪を膨潤させていきます。

- 髪の等電点 $+ - = \pm 0 =$ 疎水的 = 髪が一番安定している状態 (扱いやすい / まとまる / つややか / ダメージしにくい、など)
- アルカリ膨潤 $- \leftrightarrow - =$ マイナス同士の反発 = 親水的 = 髪が不安定) (強度低下 / まとまらない / パサつく / ダメージ)
- 酸膨潤 $+ \leftrightarrow + =$ プラス同士の反発 = 親水的 = 髪が不安定